

令和2年11月17日

各位

碧海信用金庫

2020年度半期ディスクロージャー情報の開示について

碧海信用金庫(理事長:山内 正幸)はこのたび、四半期ごとに発行している情報誌「Hekikai Report」の誌面上で、当金庫の2020年度半期のディスクロージャー情報を紹介させていただきましたので、お知らせいたします。

記

1. 主な開示内容

■業績ハイライト	■自己資本比率
■SDGsレポート vol.3	■時価情報
■財務諸表	■自己資本の充実の状況

※自己資本の充実の状況はホームページ上のみで掲載します。

2. 情報誌「Hekikai Report」の概要

〔情報誌名〕「Hekikai Report vol.48 秋号」(へきかいレポート)

〔サイズ〕A4カラー 24ページ

〔発行部数〕9,000部

〔主な配付先〕当金庫の取引先ならびに関係機関等

3. 店頭での縦覧開始

- ・本情報誌ならびに半期ディスクロージャー情報については、当金庫の店頭・ロビーでご覧いただけます。
- ・当金庫ホームページ(<https://www.hekishin.jp/>)でも、ディスクロージャー情報の内容を開示します。

以上

「Hekikai Report vol.48 秋号」のイメージ



DISCLOSURE

へきしん2020年度半期ディスクロージャー

当金庫の2020年度上半期の業況をお知らせいたします。

預金増減

現金残高は普通預金などの増加により、前期末比907億円増加の2兆2,280億円となりました。

年度	2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期	2020年9月末
現金増減	20,644	20,736	21,243	21,292	22,280

貸出金

貸出金残高は事業者向け貸出などの増加により、前期末比770億円増加の1兆1,209億円となりました。

年度	2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期	2020年9月末
貸出金	10,236	10,300	10,380	10,438	11,209

純資産

純資産は、前期末比78億円増の1,817億円となりました。前期比の純利益の集積と、第2四半期の利益は、前期末比の増加分の1,747億円と、貸出金と同等に増加した純資産を確保しています。

年度	2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期	2020年9月末
純資産	1,779	1,825	1,804	1,730	1,817

営業純益・経常利益

営業純益は、前年同期比で増加分の22億円となりました。また、経常利益は28億円となり、前年同期増となりました。

年度	2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期	2020年9月末
営業純益	26	24	53	20	22
経常利益	24	20	28	28	28

自己資本比率

全社総額の貸出金も代表的指標である自己資本比率は、前期末比0.08ポイント低下の15.27%となりました。

年度	2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期	2020年9月末
自己資本比率	15.96	15.83	15.59	15.35	15.27

不良債権の状況

「事業再生・経営支援債」を中心に、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少を認め、全額貸付ベースの不良債権残高は前期末比増加分の316億円、不良債権比率は前期末比の10ポイント低下の2.82%となりました。

年度	2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期	2020年9月末
不良債権比率	3.10%	3.12%	3.08%	3.01%	2.82%
不良債権残高	318	324	320	314	316

損益の状況

令和2年度上半期は、営業純益22億円、経常利益28億円、当期純利益21億円となりました。

	前年同期	前年同期	前年同期
	2019年	2020年	2020年
営業純益	22	22	22
経常利益	28	28	28
当期純利益	21	21	21

当金庫の概要(令和2年9月末現在)

資本金 2,952,463,000円
 貸出金 11,209,000,000円
 自己資本比率 15.27%(9月末)
 店舗数 76店舗(うち出店1カ所、インターネット支店1店舗)
 社員数 1,318人
 本店所在地 文京区湯島1-15-1号

基本方針

中心の業況に即座に対応可能な地域金融機関として、地域経済発展のため貢献する。

「へきしん」を、地域金融機関「JC」により、最前線店舗として1店舗で「A+」の評価を維持します。